

もっと佐世保を知りたいと思ったら

郷土のあらゆる分野の資料

市立図書館・郷土資料室

旧海軍、三川内焼、行政・統計、観光など、佐世保市をはじめ、県内のあらゆる分野の資料が集められています。

開館時間 10時～18時

休館日 月曜、祝日、月末日、年末年始（12月29日～1月3日）など

お尋ね ☎22-5618



遺跡発掘調査の成果を一堂に展示

市博物館島瀬美術センター 5階・考古学展示室

約1万2千年前の豆粒文土器が発見された泉福寺洞窟の模型をはじめ、市が手掛けてきた遺跡発掘調査の成果を一堂に展示しています。

開館時間 10時～18時（入館は17時30分まで）

休館日 火曜、年末年始（12月29日～1月3日）

入館料 特別展を除き無料

お尋ね ☎22-7213



終戦後の引き揚げ資料を展示

浦頭引揚記念平和公園・資料館（針尾北町）

浦頭は、第2次世界大戦後約140万人の引揚者を迎え入れた所です。現在は公園として整備され、資料館では当時の写真や引揚者の所持品などが展示されています。

開館時間 9時～18時（11月～3月は17時まで）

休館日 年末年始（12月30日～1月3日）

入館料 無料

お尋ね ☎58-2561



観光情報はおまかせ

佐世保観光情報センター

佐世保駅構内（みなと口側）にある同センターは、佐世保の観光・イベントに関する情報が集められていて、観光案内をしています。また、三川内焼の展示コーナーや、各種観光パンフレットもあります。

業務時間 9時～18時

お尋ね ☎22-6630



三川内焼の秀作を展示

三川内焼伝統産業会館（三川内本町）

平戸藩窯時代を中心とした三川内焼の古美術品と、400年の伝統を受け継ぐ現代三川内焼の秀作の数々を展示しています。また、絵付け体験、ろくろ体験（要予約、有料）もできます。

開館時間 9時～17時

休館日 年末年始（12月29日～1月3日）

入館料 無料

お尋ね ☎30-8080



三川内焼を学ぶことができます

市うつわ歴史館（三川内本町）

焼き物の歴史と三川内焼の製作工程を学ぶことができます。また、三川内焼をはじめ、全国各地の焼き物、歴史・分布図、出土品などを展示しています。

開館時間 9時～17時

休館日 年末年始（12月29日～1月3日）

入館料 無料

お尋ね ☎30-6565



西海国立公園九十九島

第二次世界大戦後、市の重要な目標に「観光都市」を掲げ、九十九島を「日本を代表する自然の風景」であることが指定の条件となる国立公園にしようと、市・県・関係町村、学識者などが運動を展開しました。その後、さまざまな困難を乗り越え、



昭和30（一九五五）年、西海国立公園九十九島が誕生しました。平成6年には、観光拠点となる西海パールシーリゾートが開業し、平成14年7月に就航した遊覧船パールクイーン（写真右）の好評もあり、九十九島を訪れる人は増加しています。また、夏の「九十九島ファミリー夏まつり」や、冬の「かき食うカキ祭り」などのさまざまなイベントが催され、たくさんの方の市民や観光客でにぎわっています。



◀かき食うカキ祭り



▶九十九島ファミリー夏まつり



ハウステンボス

工業団地予定地として造成された現在地在を昭和63（一九八八）年から開発に取り掛かり、平成4年3月に開業しました。開発前は、放置され荒地となっていました。植物が育つ土壌により、客土や肥料を入れ



て耕すなど時間を掛けて土地を改良し、現在の緑豊かな街を実現しました。また、ごみや汚水の処理にも先端技術を積極的に取り入れ、「自然の中で快適に生活できる街づくり」を理念とする環境未来都市を目指しています。現在、再建に向けてハウステンボスは新たな一歩を踏み出しました。



九十九島とハウステンボスは、佐世保市にとって欠くことのできない重要な観光資源です。市民の財産としていつまでも残していきたいものです。

自然の造形美「九十九島」と環境都市「ハウステンボス」